

2019年度

事業計画並びに収支予算書

ゆめクラブ神奈川・マスコットキャラクター



ゆめクラブ神奈川  
公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会

## 2019年度ゆめクラブ神奈川事業計画

神奈川県は65歳以上の人口は226万人、人口構成比では24.9%（平成30年1月現在）であり、全国に比べ2.9ポイント下回っておりますが、今後、全国平均を上回るスピードで超高齢社会へ移行することが予測されており、2040年には実に33.6%に達することが見込まれております。

こうした中で、高齢者自身が地域社会の一員として自立し、生きがいを持って健康で家族や地域の人々と共に過ごしていくことは、何よりも大切なことでもあります。同時に、高齢者は地域社会の中で、これまでに蓄積された経験と知識を活かした地域づくりの担い手として、様々な場面で積極的な社会参加が求められています。

老人クラブは、「生活を豊かにする楽しい活動」と「地域を豊かにする社会活動」を活動の軸として実践していますが、これからも地域を共に支え合う高齢者の社会活動の場である老人クラブの存在は、会員のみならず地域の高齢者の絆を結ぶ場としてますます重要なものとなり、活動の担い手である会員への期待も高まっています。

一方で、社会の多様化等に伴い、会員やクラブ数の減少が続いており、老人クラブを取り巻く環境は大変厳しくなっています。

2019年度を迎え、ゆめクラブ神奈川は更なる「健康・友愛・奉仕」の活動の推進と会員の増強を目指し、市町村老人クラブ連合会と連携を図りながら、「元気で、仲良く、楽しく、豊かに生きる」のスローガンのもとに次の事業を実施してまいります。

### I 事業の基本方針

- 1 『か』 かがやいて元気に生きる
- 2 『な』 なかまを広げて仲良く生きる
- 3 『が』 学習・参加で豊かに生きる
- 4 『わ』 わくわくニコニコ楽しく生きる

## 2019年度事業計画

### Ⅱ 実施事業

#### 1 『か』かがやいて元気に生きる

##### (1) 高齢者健康づくり実践教室の実施

高齢者の健康づくりは介護予防そのものであることから健康づくり実践教室を開催し、新たな知識の習得や実践方法を学び、地域で普及する人材の育成を行います。

2ブロックで開催 各60人程度

##### (2) ブロック老連で行うニュースポーツ交流の集いへの支援

事業活動基金を活用し、ゆめクラブ会員に人気のあるニュースポーツをブロック老連単位で行い、隣接市町村老連会員との交流と健康づくりを目指します。

6ブロックで開催

##### (3) 健康チャレンジフェアかながわへの参加

健やかで、心豊かな暮らしの実現と健康寿命の延伸を目指し、食生活・運動などの健康増進の取り組みを推進するため、健康づくり実践活動の普及・啓発を目的に開催される「健康チャレンジフェアかながわ」実行委員会に参画します。

##### (4) 介護予防・生きがいづくり支援事業（県委託事業）

地域に密着した組織として、健康づくり活動、生きがい活動、友愛活動等に取り組む老人クラブ活動と連携・協働により、健康寿命日本一に向けた高齢者の健康づくり、生きがいづくりによる介護予防を推進します。

##### －ゆめクラブ大学－

老人クラブ会員以外の人を含め、高齢者を対象として、県内6箇所「ゆめクラブ大学」を開講し、健康体操等健康づくり、生きがいづくり等に係る講座を実施します。

##### －地域支援事業担い手養成研修事業－

老人クラブ会員以外の人を含め、高齢者が地域支援事業の担い手として活躍するために必要な知識やノウハウを習得し、社会参加の普及促進を図ります。

##### (5) シニアフェスタ2019への協賛及び参加（協賛事業）

かながわ福祉サービス振興会で開催する健康とスポーツの集い「かながわシニアスポーツフェスタ2019」に協賛するとともにクラブ会員の参加を呼びかけます。

## 2 『な』なかまを広げて仲良く生きる

### (1) 友愛チーム活動事業の推進（県補助事業）

在宅等の高齢者仲間の生活や孤独感の解消等相互の支援活動をする友愛チームを編成し推進します。

449チーム

### (2) 友愛活動等支援事業の実施（県補助事業）

多くの高齢者が、地域社会の中で生きがいのある生活を送れるよう、会員以外の高齢者も含め、拡がりのあるクラブ活動の展開を図ります。

31市町村老連

### (3) 友愛チーム資質向上研修会の開催

友愛チーム員及び関係者が集い、その活動の資質向上のため、ブロック単位に研修会を開催します。

6ブロック（湘南ブロックは、2か所で開催）

### (4) 地域活動支援事業

市町村老連が行う次世代、他団体との交流活動事業及び老人クラブ開放・地域連携モデル事業、高齢者による交通安全、防災、防犯等地域の安全安心の普及啓発並びにパソコン活用事業への支援を行います。（1老連1事業を選択）

- |                     |              |        |
|---------------------|--------------|--------|
| ① 老人クラブ開放・地域連携モデル事業 | (@30千円)      | } 31か所 |
| ② 地域の安全安心支援事業       | (市老連 @30千円)  |        |
|                     | (町村老連 @20千円) |        |
| ③ パソコン活用事業          | (@50千円)      |        |

### (5) ゆめクラブ社会奉仕の日統一活動事業の実施（全老連との連携事業）

本事業の発案老連として、9月20日を中心とした美化活動・環境にやさしい活動への参加を各市町村老連に呼びかけます。

### (6) 老人クラブ会員増強運動の推進 **新**

全老連が平成26年度から30年度までの5か年計画で実施した『老人クラブ「100万人会員増強運動」』の神奈川版として実施した「2万人会員増強運動」を総括し、更なる会員増強を目指します。

## 3 『が』学習・参加で豊かに生きる

### (1) 情報

#### ア 広報紙『ゆめジャーナル神奈川』の発行

会員の日常生活やクラブ活動に役立つ健康・生きがい情報を提供します。

(年2回)

イ 市町村老連実態調査の実施

市町村老連の組織状況及び活動状況について調査します。

(2) 学 習

ア 役員研修会の開催（県補助事業）

県老連役員・評議員・監事を対象に当面する課題について研修と協議を行います。

（県老連主催、年2回うち1回は地域活動推進員会議と合同開催）

イ ブロック別単位クラブリーダー・新任会長等研修会の開催

県下6ブロック7か所において、単位老人クラブの新任会長等のリーダーを対象に、基本事項の習得に加え活動事例の研究や専門家の講演等を行い、老人クラブリーダーの資質の向上を目指します。（ブロック内老連が主管）

ウ 女性指導者研修会の開催（県補助事業）

会員の過半数を占める女性会員の中からリーダーの養成を図るための研修会を開催します。

エ 地域活動推進員会議研修会の開催

市町村老連の運営及び事業を担当する男女各1名の活動推進員会議構成員を対象に、現場に即した当面の課題について研修を行います。

（県老連主催 年1回）

オ 市町村老連事務局長・担当者会議の開催

県老連事務と密接に関わる、市町村老連及びブロック老連幹事の窓口である事務局長・担当者を対象に、情報交換や事務処理等に関する会議を行います。（県老連主催 年1回）

カ 市町村老連の指導育成・6ブロック老連連絡調整

市町村及び6ブロック単位で行う様々な行事に対して、企画及び調整、情報提供などを行いながら事業の充実支援を行います。

キ 関東甲信越静ブロック老人クラブリーダー研修会の開催 **新**

持回りで開催されているリーダー研修会を当番県として開催します。

期 日 平成31年6月27日(木)～28日(金)

場 所 箱根町湯本

ク 全老連主催研修会への参加

全老連が主催する研修会及びセミナー（高齢者の健康づくり・生活支援セミナー、活動推進員等職員セミナーなど）に役職員等が参加し研鑽を図ります。

#### 4 『わ』わくわくニコニコ楽しく生きる

##### (1) ゆめクラブ神奈川の基盤の強化

###### 役員会の開催

会の運営及び事業執行のために役員会、委員会等を開催します。

- ・役員会 : 理事会、評議員会、監事会
- ・委員会 : 編集委員会、事業活動基金管理委員会等

##### (2) 県老連功労者のつどいの開催

単位クラブ、友愛チーム及び市町村老人クラブ連合会等において功労のあった方々に対してその功績を称え顕彰します。

期 日 2019年11月15日(金)(予定)

場 所 ホテル「キャメロットジャパン」(予定)

##### (3) 賀詞交歓会の開催

ゆめクラブ会員や市町村リーダー、関係者等が一堂に会した交流会を行います。

期 日 2020年1月9日(木)(予定)

場 所 ホテル「キャメロットジャパン」(予定)

##### (4) 各種催しへの参加

###### 全国老人クラブ大会への参加

全国規模で行われる大会に参加し、同時に開催される活動交流部会において当面する老人クラブの課題に対しての事例発表、意見交換を行います。

期 日 2019年11月26日(火)～27日(水)

場 所 埼玉県

#### 5 関連機関・団体との連携強化

##### (1) 行政機関との連携・協働

国・県等に対して、高齢者福祉及び老人クラブ活動事業の充実を目指し、全老連等と呼応しながら運動を展開します。また、老人クラブの健康と生きがいがづくりを促進するため、神奈川県等行政機関と連携・協働を図ります。

##### (2) 高齢者健康・福祉・文化団体・企業等との連携

かながわ福祉サービス振興会等様々な高齢者の活動グループと連携を図り、老人クラブ活動の活性化を図ります。

## 2019年度 行事予定表

日	曜	4月	曜	5月	曜	6月	曜	7月	曜	8月	曜	9月
1	月		水		土		月		木		日	
2	火		木		日		火		金		月	
3	水		金	憲法記念日	月		水		土		火	
4	木		土	みどりの日	火		木		日		水	
5	金	正副理事長会①	日	こどもの日	水		金		月		木	
6	土		月		木		土		火		金	正副理事長会⑤
7	日		火	正副理事長会②	金	正副理事長会③	日		水		土	
8	月		水		土		月		木		日	
9	火		木		日		火		金		月	
10	水		金	監事会	月		水		土		火	
11	木		土		火		木		日	山の日	水	
12	金		日		水		金	基金管理委員会 正副理事長会④	月		木	
13	土		月		木		土		火		金	
14	日		火		金		日		水		土	
15	月		水		土		月	海の日	木		日	老人の日・ 老人週間
16	火		木	理事会①	日		火		金		月	敬老の日
17	水		金		月		水		土		火	
18	木		土		火		木	関プロ活動推進 員等研修会(群 馬・水上)	日		水	
19	金		日		水		金		月		木	ゆめジャーナル 編集委員会①
20	土		月		木		土		火		金	全国一斉「社会 奉仕の日」
21	日		火		金		日		水		土	
22	月		水		土		月		木		日	
23	火		木	女性会議研修会	日		火		金		月	秋分の日
24	水		金		月		水		土		火	
25	木		土		火		木		日		水	
26	金		日		水		金		月		木	
27	土		月		木	関プロリーダー 研修(箱根町)	土		火	活動推進員等職 員セミナー(全老 連)	金	
28	日		火		金	関プロリーダー 研修(箱根町)	日		水		土	
29	月	昭和の日	水		土		月		木		日	
30	火		木		日		火		金		月	
31			金	評議員会① 理事会②			水		土			

日	曜	10月	曜	11月	曜	12月	曜	1月	曜	2月	曜	3月
1	火	共同募金街頭活動	金		日		水		土		日	
2	水		土		月		木		日		月	
3	木		日	文化の日	火		金		月		火	
4	金	理事会③ 正副理事長会⑥	月		水		土		火		水	
5	土		火		木		日		水		木	
6	日		水		金	正副理事長会⑧	月	仕事始め	木		金	正副理事長会⑩ 理事会④
7	月		木		土		火		金	正副理事長会⑨	土	
8	火		金	正副理事長会⑦	日		水		土		日	
9	水		土		月		木	賀詞交歓会	日		月	
10	木		日		火	基金管理委員会 役員研修会	金		月		火	
11	金		月		水		土		火	建国記念の日	水	
12	土		火		木	健康づくり・生活支 援セミナー(全老 連)	日		水		木	
13	日		水		金	健康づくり・生活支 援セミナー(全老 連)	月	成人の日	木		金	ゆめジャーナル 編集委員会②
14	月	体育の日	木		土		火		金		土	
15	火		金	功労者のつどい	日		水		土		日	
16	水		土		月		木		日		月	
17	木	関プロ連絡協議 会(千葉市)	日		火		金		月		火	評議員会②
18	金	関プロ連絡協議 会(千葉市)	月		水		土		火		水	
19	土		火		木		日		水		木	
20	日		水		金		月		木		金	春分の日
21	月		木		土		火		金		土	
22	火		金		日		水		土		日	
23	水		土	勤労感謝の日	月		木	女性会議研修会	日	天皇誕生日	月	事務担当者会議
24	木		日		火		金		月		火	
25	金		月		水		土		火		水	
26	土		火	全国老人クラブ 大会(埼玉県)	木		日		水		木	
27	日		水	全国老人クラブ 大会(埼玉県)	金	仕事納め	月		木		金	
28	月		木		土		火		金		土	
29	火		金		日		水		土		日	
30	水		土		月		木		\		月	
31	木		\		火		金		\		火	



# 収支予算書(正味財産増減計算ベース)

2019年 4月 1日から2020年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益事業費	その他事業費	法人会計	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
<b>1. 経常増減の部</b>				
(1)経常収益				
基本財産運益	25,000	0	0	25,000
基本財産受取利息	25,000	0	0	25,000
特定資産運用益	1,000	0	0	1,000
特定資産受取利息	1,000	0	0	0
受取分担金	5,590,000	0	3,242,000	8,832,000
受取分担金	5,590,000	0	3,242,000	8,832,000
事業収益	1,774,000	804,000	0	2,578,000
機関紙等収益	710,000	210,000	0	920,000
各種行事参加収益	1,064,000	594,000	0	1,658,000
受取補助金	15,257,000	0	0	15,257,000
受取地方公共団体補助金	15,057,000	0	0	15,057,000
受取民間補助金	200,000	0	0	200,000
受取委託費	6,263,000	0	0	6,263,000
受取地方公共団体委託費	6,263,000	0	0	6,263,000
受取寄付金	2,050,000	400,000	100,000	2,550,000
受取寄付金	900,000	400,000	100,000	1,400,000
受取県共募金寄付金	450,000	0	0	450,000
受取事業活動基金	600,000	0	0	600,000
受取賛助会費	100,000	0	0	100,000
雑収益	392,000	0	81,000	473,000
受取利息	2,000	0	0	2,000
福利協会退職年金	0	0	1,000	1,000
雑収益	390,000	0	80,000	470,000
<b>経常収益計 ①</b>	<b>31,352,000</b>	<b>1,204,000</b>	<b>3,423,000</b>	<b>35,979,000</b>
(2)経常費用				
<b>事業費</b>	<b>33,821,000</b>	<b>1,204,000</b>	<b>0</b>	<b>35,025,000</b>
給料手当	8,837,000	337,000	0	9,174,000
臨時雇賃金	189,000	0	0	189,000
賞与引当金繰入	445,000	21,000	0	466,000
退職給付費用	962,000	31,000	0	993,000
法定福利費	1,441,000	55,000	0	1,496,000
共済掛金	126,000	5,000	0	131,000
福利厚生費	117,000	5,000	0	122,000
会議費	375,000	0	0	375,000
旅費交通費	1,473,000	0	0	1,473,000
通信運搬費	529,000	0	0	529,000
減価償却費	0	0	0	0
消耗品費	561,000	39,000	0	600,000
印刷製本費	915,000	0	0	915,000
新聞・図書費	5,000	0	0	5,000
修繕維持費	267,000	0	0	267,000
賃借料	2,121,000	684,000	0	2,805,000
保険料	25,000	0	0	25,000
諸謝金	438,000	25,000	0	463,000
支払手数料	118,000	2,000	0	120,000
租税公課	9,000			9,000
支払負担金	87,000	0	0	87,000
支払助成金	14,638,000	0	0	14,638,000
委託費	73,000	0	0	73,000
支払利息	0	0	0	0
雑費	70,000	0	0	70,000

(単位:円)

科 目	公益事業費	その他事業費	法人会計	合 計
管 理 費	0	0	5,501,000	5,501,000
給料手当	0	0	2,195,000	2,195,000
賞与引当金繰入	0	0	68,000	68,000
退職給付費用	0	0	347,000	347,000
法定福利費	0	0	352,000	352,000
共済掛金	0	0	30,000	30,000
福利厚生費	0	0	28,000	28,000
会 議 費	0	0	150,000	150,000
旅費交通費	0	0	362,000	362,000
役員費	0	0	63,000	63,000
通信運搬費	0	0	91,000	91,000
減価償却費	0	0	0	0
消耗什器備品費	0	0	1,000	1,000
消耗品費	0	0	35,000	35,000
印刷製本費	0	0	19,000	19,000
新聞・図書費	0	0	10,000	10,000
修繕維持費	0	0	68,000	68,000
賃借料	0	0	324,000	324,000
支払手数料	0	0	501,000	501,000
租税公課	0	0	2,000	2,000
支払負担金	0	0	775,000	775,000
支払利息	0	0	0	0
雑 費	0	0	80,000	80,000
経常費用計 ②	33,821,000	1,204,000	5,501,000	40,526,000
当期経常増減額 ①-②=③	△ 2,469,000	0	△ 2,078,000	△ 4,547,000
2. 経常外増減の部				
(1)経常外収益				
経常外収益計 ④	0	0	0	0
(2)経常外費用				
経常外費用計 ⑤	0	0	0	0
当期経常外増減額 ④-⑤=⑥	0	0	0	0
当期一般財産増減額 ③+⑥=⑦	△ 2,469,000	0	△ 2,078,000	△ 4,547,000
一般正味財産期首残高 ⑧	37,316,000	68,000	2,081,000	39,465,000
一般正味財産期末残高 ⑦+⑧=⑨	34,847,000	68,000	3,000	34,918,000
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額 ⑩	0	0	0	0
指定正味財産期首残高 ⑪	1,000,000		0	1,000,000
指定正味財産期末残高 ⑩+⑪=⑫	1,000,000		0	1,000,000
III 正味財産期末残	35,847,000	68,000	3,000	35,918,000